

に置き、時代に適した活動の推進に努めます。

置戸町青年団体連絡協議会が創立70周年、置戸町文化連盟が創立50周年迎えることから記念事業について支援します。

平成8年から、愛タウンふるさとづくり協議会が実施してきました地遊人事業は、地域活性化や定住対策に大きな役割を果たしてきましたが、近年の応募状況などから制度の見直しが必要であります。今後、国で推進しています、地域おこし協力隊の導入について協議会と連携を図りながら具体的な協議を進めます。

食のまちづくり推進事業については、食育の普及、地産地消の推進をさらに進めるため、農作物の加工・販売、地域レストランの可能性について、より深く学習を推進し、関係機関などとの連携を図りながら具体的な構想を形成します。

郷土資料・文化財関係については、札幌学院大学との地域協定を基に、考古学実習に加え、地域交流など、活動の広がりを推進し、札幌学院大学より提案のあった「小さな博物館のある街づくり構想」についても検討を進めます。

---

## 社 会 体 育

---

**子**どもの体力づくりを推進するため、おけとわんぱくクラブや少年スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援、さらに小学校との連携を図りながら、小学生の体力と運動機能の向上に努めます。

高齢者や町民の健康保持、並びに健康志向の高まりに応え、軽スポーツや健康体操教室を引き続き実施します。

パークゴルフの振興ですが、競技人口の拡大に向け、子どもから楽しんでプレーができるよう環境づくりに努めるとともに、親子が一緒に参加できるような事業の展開を図ります。

---

## 森 林 工 芸 館

---

**作**り手自らが後継者育成に携わる体制や、流通販売部門を担う一般社団法人おけと森林文化振興協会が設立され、オケクラフトの更なる発展に向けた取り組みがスタートしました。本年度も、体制整備や内容充実に向けた取り組みを推進します。

作り手養成塾は、3年ぶりに3名の塾生を受け入れた昨年に引き続き、2名を受け入れます。指導カリキュラムなどを整理しながら、より効率的・効果的に進めます。また、3名の塾生は2年目を迎えることから、卒塾・独立に向けた支援もより一層進めます。

また、今後のオケクラフトのさらなる発展を目指して、デザイン力や技術の向上、生産資材等の研究開発に向けた取り組みに対して支援をします。



ども工房では、秋岡陽氏を名誉館長に迎え3年目となりますが、秋岡コレクションの継続的な活用事業と手仕事文化の情報発信に努めます。

---

## 図 書 館

---

**図**書館は、昨年度策定した図書館運営3ヶ年計画に基づき、地域図書館としての機能を高め、多くの町民に愛される「本のあるみんなの広場」としての図書館づくりを進めます。

学校と連携を図りながら、子どもたちに魅力ある「おけとこどものほんだな」の改定やブックスタートの選書作業を実施します。

---

## 学 校 給 食

---

**学**校給食は地域の自然や食文化などの理解を深めるための「生きた教材」となっています。栄養教諭の専門性を活かし、教職員と連携し体験学習などを通じ、食に関する理解や感謝の心を育む指導の充実を図るとともに、家庭で楽しい食生活が送れるよう、給食だよりや献立表を通して家庭・地域へ情報発信を行います。

児童・生徒への食物アレルギー対応に万全を期すとともに、調理備品の点検をはじめとした施設設備の衛生管理、調理関係職員の健康管理の徹底など、安全対策に努めます。また、地元の野菜や山菜、手作り食材などを積極的に取り入れ、季節や行事に配慮した、安心な給食の提供に努めます。

透明性・公平性の向上を図るため学校給食費の一般会計への公会計化を図ります。